

江戸優り

国指定重要無形民俗文化財

日本遺産認定

ユネスコ無形文化遺産登録



# 佐原の大祭



**夏祭り** ●山車10台  
7月10日以降の  
金・土・日曜日

**秋祭り** ●山車15台  
10月第2土曜日を中日  
とする金・土・日曜日



※開催日程は変更となる場合がありますので、お越しの際は予めご確認ください。

江戸優り

# 佐原の大祭

国指定重要無形民俗文化財

北総四都市江戸奉行・江戸を巡る文化財の町並み

日本遺産認定

ユネスコ無形文化遺産登録



佐原の大祭は、7月10日以降の金・土・日曜日に行われる八坂神社祇園祭と10月第2土曜日を中とする3日間に行われる諏訪神社秋祭りの2つのお祭りの総称をいいます。  
上部に大人形、周囲に豪華な彫刻が飾り付けられた、総檜造りの重厚な山車が、佐原囃子の音とともに歴史的町並み(国選定重要伝統的建造物群保存地区)の中を曳き廻されます。さらに、山車の前では手古舞の流れをくむ手踊りが披露され祭り気分は一層盛り上がります。

この祭りの起源は資料がなく不明ですが、佐原は江戸時代中期から利根川舟運により繁栄し、その財力を背景に祭文化が発展し、また江戸との深い経済・文化の交流から江戸の山王祭や神田祭を強く意識し江戸より優れた山車祭りの実現を目標に形成されてきました。  
約三百年にわたりその伝統は脈々と今に受け継がれています。  
平成16年2月には「佐原の山車行事」として、「佐原囃子」と共に国の重要無形民俗文化財に指定されました。  
また、平成28年11月30日(日本時間12月1日)にエチオピアで開催された第11回政府間委員会において、佐原の山車行事を含む「山・鉦・屋台行事」が「ユネスコ無形文化遺産」に登録されました。



## 佐原の大祭SNS

佐原の大祭に関する動画や情報を発信しています。



YouTube

NPOまちおこし 佐原の大祭振興協会



Instagram

佐原の大祭実行委員会

国指定重要無形民俗文化財

日本三大囃子

# 佐原囃子

## 佐原囃子

山車の中天上と呼ばれる下高欄で演奏される佐原囃子は情緒的なメロディーを主体とする独特の祭り囃子です。

佐原では、お囃子を下座と呼び、囃子方を下座連といいます。楽器は、笛・大皮・小鼓・大太鼓・小太鼓・すり鉦で、15人位で演奏される和楽器のオーケストラです。

曲目は40曲以上あり、ゆっくりとした山車の動きに合わせて作曲された「段物」、民謡や各時代のはやり歌、またテンポの速い曲等の「端物」、山車の出発等、儀式的に奏する「役物」に分類されます。これらの曲は山車が曳き廻される道の雰囲気に合わせて演奏されます。佐原囃子の独特の響きと曲の多さは、他の囃子には類例がありません。



## 主な曲目

- 段物** (だんもの) 吾妻、巢籠り、さらし、神田、八百屋、段七、曾我、盾、くずし
- 役物** (やくもの) 砂切(さんぎり)、馬鹿囃子、はな三番叟
- 端物** (はもの) おやまか、猫じゃ、矢車、巢籠りくずし、津島、吉野、剣囃子、大和、佐原音頭、佐原小唄、松飾り、あんば、大杉あんば、大漁節、ラッパ節、船頭小唄、串本節 等々

※背景は佐原囃子の伝承のために昭和23年に初めて作られた譜面

# 夏祭り

山車10台



●7月10日以降の金・土・日曜日

◆天鈿女命

〔本川岸〕



- ①明治15年(1882年)
- ②文化元年(1804年)
- ③慶應五兵衛
- ④吹樂(しょうらく)
- ⑤江戸の人形前鳳凰の銘が御座内部に直刻された。湯舟おがめさんは現存使用最古の飾り物と判明。

◆鯉

〔八日市場〕



- ①明治29年(1896年)
- ②文政年間(1818~1830年)
- ③八日市場区
- ④龍の彫刻
- ⑤飾り物の龍は、妻わらを、町内全員の協力で作成。5年ごとに制作。今の龍は令和6年の作。

◆武甕槌命

〔浜宿〕



- ①平成9年(1997年)
- ②昭和12年(1937年)
- ③鳳凰
- ④柔和(にゅうわ)
- ⑤山車彫刻は嘉永元年から4年間かけて制作されたもの。

◆金時山姥

〔寺宿〕



- ①嘉永3年(1850年)
- ②明治12年(1879年)
- ③鳳凰五兵衛
- ④幣巻(へいだい)
- ⑤飾り物は足柄山での少年期を表し、熊にまたがり斧をかざし、力強さを表している。

◆伊弉那岐尊

〔田宿〕



- ①嘉永4年(1851年)
- ②明治43年(1910年)
- ③面六
- ④飛樂(よつたい)
- ⑤山車は漆塗り、格天井には漆蒔絵を施している。

◆鷹

〔仁井宿〕



- ①平成11年(1999年)
- ②宝暦年間(1751~1764年)
- ③仁井宿区
- ④仁愛(じんあい)
- ⑤飾り物の鷹は、櫻わらを、町内全員の協力で作成。4年ごとに制作。今の鷹は令和5年の作。

◆神武

〔船戸〕



- ①平成9年(1997年)
- ②明治20年(1887年)
- ③三代目 原舟月
- ④蒸刑(じょうかん)
- ⑤飾り物に良いものが多いが、中でも龍の飾り物が優れているという。

◆菅原道真(菅公)

〔下仲町〕



- ①文政5年(1822年)
- ②大正10年(1921年)
- ③三代目 安本龜八
- ④旗巻(しょうとく)
- ⑤玉簾 天幕は安政3年(1856年)の作。平成24年、古文書の発見により、現存する佐原最古の山車と判明。

◆太田道灌

〔上仲町〕



- ①明治34年(1901年)
- ②大正10年(1921年)
- ③大衆堂次郎
- ④龍威(とくい)
- ⑤山車は社寺建築の「本枘組造り」の様式が取り入れられた重厚なもの。令和4年に人形装束を新調。

◆経津主命

〔荒久〕



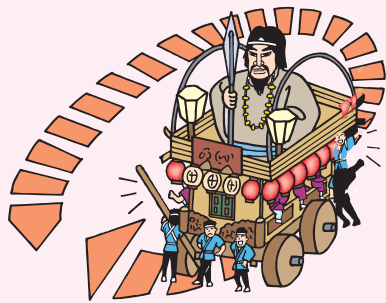
- ①平成30年(2018年)
- ②大正9年(1920年)
- ③三代目 安本龜八
- ④威巻(いとく)
- ⑤飾り物は香取神宮の祭神。飾り物も立派で、特に方立(柱廻し)は優れている。

## 山車の曲曳き

一般的な曳き廻しに対し、山車を操る技術を競うとともに最大の見せ場としての特別な曳き廻しを「曲曳き」と言います。基本型の曲曳きとして以下の3つがありますが、いずれにも商業で繁栄した佐原ならではの名前がつけられています。

の字廻し

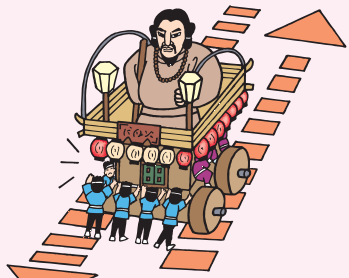
こばん廻し



山車に向かって左前の車輪を軸として、筆で「の」の字を書くように数回転させる。山車上部の大人形があたかも能を舞うがごとく、ゆっくり回転させることが上手とされている。山車走行を一度停めてから行う方法と、山車走行を止めずに行う「まわしこみ」がある。

山車を小判の形に楕円を描く様に曳く。常に一定速度と角を曲がる技術は見た目の派手さこそないがなかなか難度であり玄人、職人技である。

そろばん曳き



そろばんを伏せて前後に転がすように山車を直線に往復させる。豪快さと速さ、山車を止める力強さは興奮の一言。

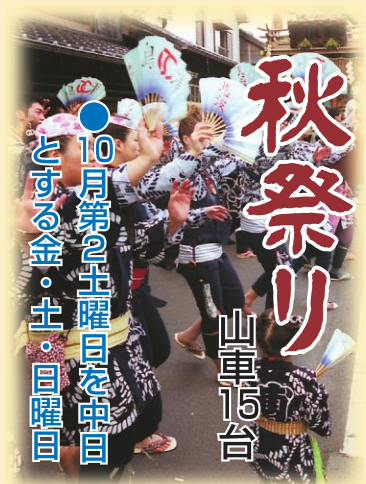
凡例

山車

◆飾り物

〔町内名〕

- ①山車の制作年代
- ②飾り物の制作年代
- ③飾り物の制作者
- ④額の文字
- ⑤一口メモ



●10月第2土曜日を中日とする金・土・日曜日



◆大楠公 (楠木正成)  
〔東関戸〕

- ①昭和10年 (1935年)
- ②昭和10年 (1935年)
- ③大衆體量
- ④純正 (じゅんせい)
- ⑤山車は柱廻しがなく四方正面を特徴とする。額に文字は荒木貞夫陸軍大将の幟。



◆源頼義  
〔下宿〕

- ①明治8年 (1875年)
- ②明治32年 (1899年)
- ③古川長延
- ④誠實 (せいじ)
- ⑤飾り物は、山中の戦いの中で、岩を弓で砕き水を出した故事による。令和4年に人形の焼灼・衣装を新調。



◆鎮西八郎為朝  
〔上中宿〕

- ①嘉永5年 (1852年)
- ②明治15年 (1882年)
- ③鳳凰伝吉
- ④富士山の彫刻
- ⑤彫り物は「柱廻し」といわれる技法で富士の裾野での巻き廻りの様子が回っており、柱をうまく隠している。



◆浦嶋太郎  
〔下新町〕

- ①江戸後期
- ②明治12年 (1879年)
- ③鳳凰
- ④扇渡 (おんば)
- ⑤天幕は本金のしめ縄、玉串と彫り物は歌川国芳の水滸伝をかたどり、彫りも深く重厚な感じである。



◆日本武尊  
〔北横宿〕

- ①明治8年 (1875年)
- ②明治8年 (1875年)
- ③鳳凰
- ④愛国 (あいこく)
- ⑤鎧褌 (けやき) 造りの山車。彫刻は木彫りとは異なる立体感と生命力に溢れている。



◆諏訪大神  
〔上新町〕

- ①昭和11年 (1936年)
- ②江戸時代
- ③上新宿区
- ④敬神 (けいしん)
- ⑤大神を飾り、八咫鏡 (やたのかがみ) の周囲に御旗などが配されている。



◆瓊瓊杵尊  
〔西関戸〕

- ①昭和10年 (1935年)
- ②昭和12年 (1937年)
- ③鳳凰 (昭和15年飾付)
- ④神威雄突 (しんかくえき) の幟。
- ⑤額には後醍醐光作の彫り物で彫られ、文字は明治神宮の元宮司 有馬良輔氏の幟。



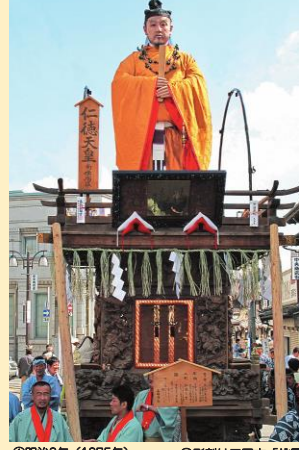
◆小野道風  
〔新橋本〕

- ①明治27年 (1894年)
- ②明治4年 (1871年)
- ③鳳凰
- ④源龍 (うんりゅう)
- ⑤額の文字「源龍」は小野道風真蹟と伝えられている。



◆源義経  
〔上宿〕

- ①昭和53年 (1978年)
- ②昭和55年 (1980年)
- ③四代目 面六 田口義雄
- ④智勇 (ちゆう)
- ⑤源/浦での源平の戦いでの勇姿をかたどっている。



◆仁徳天皇  
〔南横宿〕

- ①明治8年 (1875年)
- ②大正14年 (1925年)
- ③三代目 安本龜八
- ④高木に上りて見れば船 (けむり) たつ底のかまどは暖いけり
- ⑤彫刻は三国志「桃圖の誓い」から始まり、名場面を10年の歳月をかけて彫り上げた大作である。



◆牛天神  
〔新上川序〕

- ①令和5年 (2023年)
- ②江戸後期
- ③不詳
- ④上河岸 (うわがし)
- ⑤腕手の彫り物は、保元・平治の乱で功を立て、剃髪して第三位入道と名乗った源頼政の源氏。



◆桃太郎  
〔中宿〕

- ①江戸時代後期
- ②大正11年 (1922年)
- ③三代目 安本龜八
- ④龍羅 (ほうろん)
- ※昭和34年を最後に、現在山車の曳き廻しは行われていない。



◆建速素盞鳴尊  
〔下川序〕

- ①明治31年 (1898年)
- ②江戸後期
- ③不詳
- ④宏道 (こうえん)
- ⑤山車は「八方にらみ」といわれる形で四方のどこからか見ても同じ様に見える。



◆神武天皇  
〔仲川序〕

- ①明治29年 (1896年)
- ②明治31年 (1898年)
- ③不詳
- ④博知天 (たけとてんごとし)
- ⑤三方正面造りの山車で、通し柱8本で製作。材料の樟 (けやき) は九州の玉目の一本取り。



◆小楠公 (楠木正行)  
〔下分〕

- ①明治28年 (1895年)
- ②昭和10年 (1935年)
- ③大衆體量
- ④下分 (しもわけ)
- ⑤飾り物は四条藤 (しじょうなわて) の合戦の際、如蓮崎守の壘に矢射で併せての句を書きつける楠木正行の姿。

▼仁徳天皇 南横宿区

(大正14年(1925) 三代目安本龜八作)

『高きやに 昇りて見れば煙立つ 民のかまどは にぎわいにけり』の歌で有名な第16代の天皇で、人民の苦しみをみて課役を廃止するなど仁政で知られています。



▲神武 船戸区

(明治20年(1887) 三代目原舟月作)

記紀神話によると日本各地の荒ぶる神々を平定し即位した初代天皇と伝えられています。仲川岸区も神武天皇を飾っています。

日本最大級・人形師の業

山車飾り・大人形

佐原の山車の大きな特徴の一つに、身の丈5メートル近くある大人形が山車の最上部に飾り付けられている点があります。江戸時代後期から昭和初期にかけて江戸、東京で活躍した名工、鼠屋福田万吉、原舟月、安本龜八、大柴護豊などの人形師達によって制作されたものです。現在ではこのような大首人形をつくれる職人はいないとされ貴重な文化遺産となっています。

▼浪裡白跳張順の水門破りの図

歌川国芳画「水滸伝」錦絵



山車彫刻

佐原の山車の周囲には櫟(けやき)材で制作された関東彫りの重厚で豪華な彫刻が飾り付けられています。

制作は、後藤、石川、立川などの江戸の名工といわれた彫刻師により手掛られ、構図は一般的な龍や花鳥、獅子だけでなく、日本神話や軍記物、伝承もの、中国の故事など様々なものがあり、登場する人物は表情豊かで躍動的に彫られています。



▲下新町区

文久2年(1862) 石川三之助作

歌川国芳が描いた水滸伝の英雄達の錦絵を題材とした彫刻が、山車全体に飾り付けられています。

西関戸区のち密な龍の彫刻

嘉永年代(1848~1854) 四代目石川藤吉朝光作

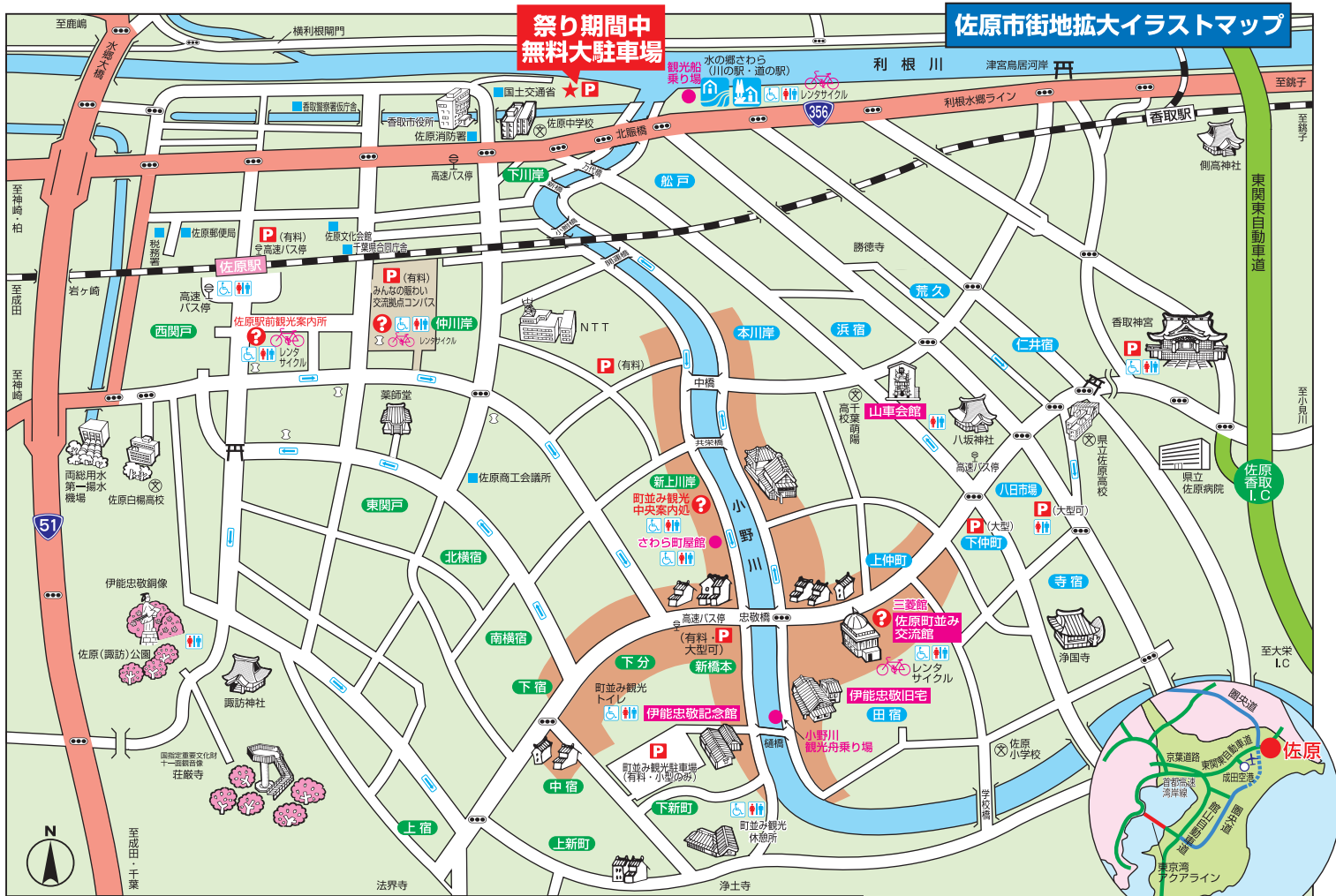


▶八日市場区

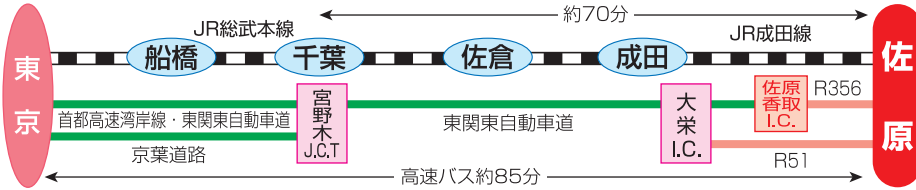
明治21年(1888) 小松重太郎光重・光春作

山車全体に太閤記を題材として、豊臣秀吉や竹中半兵衛、加藤清正等が彫られています。写真は、加藤清正公。





**交通のご案内**



重要伝統的建造物群保存地区  
 凡例 P 駐車場 ? 観光案内所 トイレ ♿ 身障者用トイレ

市内観光には、レンタサイクル(有料)を利用すると便利です。  
**貸出場所** 佐原駅前観光案内所、水の郷さわら、佐原町並み交流館、みんなの賑わい交流拠点コンパス  
 レンタサイクル

**伝統の美 日本一の山車を展示 水郷佐原山車会館**



7月と10月に行われる祭礼を華麗に彩る24台の山車が交替に2台展示され、本物の迫力を感じることができます。



**【開館時間】**

■通年 9時～16時30分  
 休館日：月曜日(祝日の場合は開館し、翌平日が休館)、年末年始

**【交通案内】**

■電車：JR成田線佐原駅下車徒歩約15分  
 ■自動車(東京方面から)：東関東自動車道・佐原香取ICから約5分

**【入館料】**

	個人	団体(15名以上)
大人	400円	350円
小・中学生	200円	150円

伊能忠敬記念館とセットでお得な共通入館券 大人 800円 小・中学生 350円

**年間パスポートのご案内**

市内3施設(水郷佐原あやめパーク・水郷佐原山車会館・伊能忠敬記念館)共通の年間パスポートを各施設にて販売中。  
 ◎大人：2,000円 ◎小・中学生：1,000円

〒287-0003 千葉県香取市佐原イ3368(八坂神社境内) ☎0478-52-4104  
<https://www.city.katori.lg.jp/sightseeing/sawaradashikaikan/index.html>